

第53回

複合型施設の計画

近畿大学 建築学部
教授 山口 健太郎



【経歴】

京都大学大学院を卒業後、株式会社メトス、国立保健医療科学院協力研究員を経て2008年より近畿大学工学部建築学科講師。2011年4月より准教授。2017年4月より現職。特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護などの研究を行うかたわら、高齢者施設の設計にも関わる。主な建物に「ケアタウンたちばな、設計監修、大牟田市」などがある。

福祉という概念はすべての人々を対象とするが、福祉施策となれば高齢者や障がい者、子ども、低所得者など社会的弱者に絞られてくる。福祉施策は年齢性や障がいの程度により細分化されており、厚生労働省の部局もそれに対応している。福祉施設に関する建築計画も高齢者施設、障がい者施設、児童養護施設に分かれており、それぞれ独立して研究、設計がなされてきた。いわゆる、このような「縦割り」は、良くないというイメージが強いが、制度や建物がつくられた初期においては有意義であった。施設計画が未成熟な段階においては、各々の専門性が必要であり、各施設を深く掘り下げていくことでよりよい制度や建築へと収斂していった。専門性を高めていくためには機能分化というプロセスが必要となる。だが、その一方で制度や建物が成熟してくると、様々な面での硬直化が生じてくる。画一化に伴う機能の劣化、新しい取り組みに対する抵抗など、より良い改善ができなくなり、簡単なことでも前に進まなくなる。

高齢者と障がい者、子どもの施設の一体化は、良かれと想っていても進まない部分であった。高齢者は子ども達が近くにいることにより刺激を受け、障がい者や子どもは高齢者からの学びを得る。富山型デイサービスなど先進的な取り組みは見られるものの、全国的に推進されているわけではなかった。このような中、平成28年3月に厚生労働省は「地域の実情に合った総合的な福祉サービスの提供に向けたガイドライン」を発表し、これらの施設の総合的な運用を認める方針を打ち出した注1)。

ガイドラインでは、高齢者、障がい者、子どもに関連する在宅系サービス（グループホームなどをも含む）の人員、設備の兼担・兼用を認めている。ガイドラインでは、これまでの省令の中に記載されていた「(従事者の専任に係る規定)

ただし、利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。」という記述や、「(部屋の専用に係る規定) ただし、利用者に対する指定通所介護の提供に支障がない場合は、この限りでない。」という記述を運用し、基準以上の人員、設備を備えている場合には相互利用が可能であるとしている。例えば、高齢者のデイサービスと障がい者のデイサービスを一体的に整備する場合、定員に対して必要な職員数、面積を確保している場合においては、利用者が互いの空間を利用しても差し支えなく、また、職員も相互の利用者に対してサービスを提供することができる。

現在のところ人員の面において兼務が認められているのは、管理者などの直接ケアを提供する人員以外であり、ケアの一体化は進んでいない。だが、設備(建物)の面では、食堂などの共用が認められており建物の計画を変える可能性を持っている。これまで高齢者施設と障がい者施設を同一建物内に設ける場合、サービスごとに明確なゾーン分けを求められることが多かった。例えば通所という同じ機能を持ったサービスでも、別々に食堂・居間を設け、出入口も別々になっていた。高齢者と障がい者の交流を阻害するだけではなく、個々にキッチンや浴室などを設けなければならないなど建設コスト面での無駄も大きかった。

今後は、高齢者と障がい者のデイを別々に考えるのではなく、食事スペース、作業スペース、休憩スペースというように行為ごとに空間を設け、共同利用する事が可能になる。異なる雰囲気のある部屋を2つ設ける、読書、ビデオ鑑賞、レクリエーションなど多様な行為に即した空間を設けるなど、設計や利用の幅が広がる。「夢のみずうみ村」のように様々な部屋を設け、利用者自らが毎日のプログラムを作り活動することも容易になるだろう。そして、このような利用の一体化により、高齢者や障がい者といった制度上の枠組みに対する意識が薄れ、価値観を共にする集まりとしての交流が促進されていく。

懸念点としては、現在のようにケアの兼務が認められない状況下においては、1つの空間に多様な利用者がある場合においても、サービス種別ごとに職員を配置しなければならないことにある。同じテーブルに食事介助を必要とする高齢者と障がい者がいる場合、1人の職員が交互にケアできるにも関わらず、それぞれに職員をつけなければならない。となれば運営上は混乱をきたすだろう。基準以上の職員が配置されているのであれば、ケアの一体化も可能となることが望まれる。

注1)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyo/kyokushougai/hoken/fukushibu>

.....

-Kikakuka/0000119283. pdf